

○有機農業推進団体支援事業

平成20年12月1日現在

事業区分	事業実施主体	主な取組の概要	20年度予定事業費		問い合わせ先
			(千円)	うち国費 (千円)	
参入促進事業	特定非営利活動法人 有機農業技術会議	<p>1 相談窓口の開設 有機農業による農産物の生産、流通、販売等に通じた担当者(約20名)を定め、有機栽培の技術・知識、流通・販売、経営のノウハウ、研修先の選定や就農に当たっての心構えなどの相談に応じる窓口を開設</p> <p>2 有機農業への参入に必要な情報の収集・整備 ①全国を対象に、経営類型ごとの研修受入可能な有機農業者等に関する情報(100件程度)を収集・整備 ②有機農業に取り組む場合に活用できる行政の支援策、民間団体の活動、その他の関連情報を収集・整備</p> <p>3 参入希望者向けポータルサイトの開設 データベースの検索、相談受付等の機能を有する有機農業への参入希望者向けのポータルサイトを開設</p> <p>4 相談会・交流会の開催 全国6カ所(北海道・福島・埼玉・東京・愛知・鹿児島)で開催</p> <p>5 その他 ①専門の担当者を地域に派遣し、モデルタウン事業の実施主体の活動(参入希望者への指導・助言、研修等)を支援 ②有機農業へより円滑に参入できる方法の検討を行うため、研修受入等の実態を調査</p>	26,983	26,483	特定非営利活動法人 有機農業技術会議事務局 ((財)自然農法国際研究開発セン ター農場試験場内) TEL: (0263) 92-6800 FAX: (0263) 92-6808 Email: office@ofrc.net Website: http://www.ofrc.net

有機農業総合支援対策 平成20年度事業実施計画の概要

○有機農業推進団体支援事業

平成20年12月1日現在

事業区分	事業実施主体	主な取組の概要	20年度予定事業費		問い合わせ先
			(千円)	うち国費 (千円)	
普及啓発事業	特定非営利活動法人 全国有機農業推進協議会	<p>1 シンポジウムの開催 消費者等の有機農業に対する理解と関心を深めることを目的として、全国各地で各種イベントとのタイアップによるシンポジウム(200~500名規模)を開催。シンポジウムでは有機農業者をはじめ、学識経験者、自治体、マスコミ関係、文化人等が出演し、映像や音楽も交えつつ、環境保全、食育、伝統文化の継承等の有機農業の有する様々な効果、価値について、参加者が楽しみながら理解、共感できるよう工夫 (20年度は、東京、大阪、名古屋、高知、岩手、愛媛において開催予定)</p> <p>2 メディアを活用した広報活動 ①有機農産物の取扱店の紹介や有機農業に関連したイベントの内容など有機農業に関して消費者が知りたい情報を幅広く提供するとともに、有機農業に関心のある者同士の交流の場を提供できる、携帯電話からもアクセス可能なポータルサイトを開設 ②新聞や雑誌とのタイアップにより、「有機農業の基礎知識」、「有機農業と地域の関係」、「有機のある食生活」など、新聞、雑誌それぞれの読者の関心が高いと考えられるテーマを取り上げ、シリーズとして継続的に記事を掲載 ③本事業の目的や普及啓発の取組に対する認知度を高めるため、全国紙に全面広告を掲載</p> <p>3 その他 普及啓発を目的とした配布物、イベント時等に活用するPRツールとして『有機農業宣言』マーク(仮)を作成</p>	55,950	40,950	特定非営利活動法人 全国有機農業推進協議会事務局 TEL: (03)3946-1237 FAX: (03)3946-1237 Email: info@yuki-hirogaru.net Website: http://www.yuki-hirogaru.net
調査事業	特定非営利活動法人 日本有機農業研究会	<p>1 消費者の有機農業に対する理解と関心の程度の把握 消費者の有機農業に対する理解と関心の程度を把握し、今後の普及啓発活動に活かすため、インターネットを活用した一般の消費者向けと、次世代を担う階層として大学生(400人規模)を対象としたアンケート調査を実施</p> <p>2 有機農業に用いる資材(種苗等)に関する調査 有機農業に適した在来品種等の種苗の生産、流通の実態を把握するため、有機農業者を対象とした全国規模のアンケート調査(1,000人規模)を行うとともに、各ブロックごとに、自家採種を行っている農家を対象として在来種の栽培方法・採種方法等のヒアリング調査及び種苗のサンプリングを実施</p>	7,224	7,224	特定非営利活動法人 日本有機農業研究会事務局 TEL: (03)3818-3078 FAX: (03)3818-3417 Email: info@joaa.net. Website: http://www.joaa.net

有機農業総合支援対策 平成20年度事業実施計画の概要

○有機農業等指導推進事業

平成20年12月1日現在

事業区分	事業実施主体	主な取組の概要	20年度予定事業費		問い合わせ先
			(千円)	うち国費 (千円)	
指導推進事業	財団法人 日本農業研究所	<p>1 有機農業に関する技術の調査、実証試験</p> <p>①現地調査 水稲、畑作、野菜、果樹、茶について、品質、収量等の安定、向上に有効な技術の改善点を明らかにするため、昨年度のアンケート調査で把握した品質又は収量等の成績が大きく異なる事例を対象に、その違いが生じる要因を詳細に分析する現地調査を実施</p> <p>②実証試験 ・水稲の有機栽培で特に重要な雑草防除について、有機資材を利用した抑草技術の実証試験を行い、技術の導入効果が安定的に得られる条件を分析 ・野菜作について、先進的な有機農業者の栽培管理の手法を取り入れることにより、慣行栽培から有機栽培への転換が円滑に進められる可能性を検証するとともに、転換期間中の土壌状態等の環境の変化を把握するため、これまで慣行栽培が行われていたほ場において、有機栽培試験を実施</p> <p>2 有機農業をはじめとする環境保全型農業の推進</p> <p>①シンポジウムの開催 主に都道府県やJAの指導者を対象として、有機農業をはじめとする環境保全型農業を推進する必要性や、先進的な取組について理解を深めることを目的としたシンポジウム(年1回)を開催</p> <p>②優良な取組の表彰 有機農業等の推進に貢献した農業者、農業団体、自治体、消費者団体等を全国から選定し、表彰(第14回 環境保全型農業推進コンクール)</p>	51,594	51,594	財団法人 日本農業研究所 TEL: (03)3262-6351 FAX: (03)3262-6355 Email: kankyo@nohken.or.jp Website: http://www.nohken.or.jp/

○地域有機農業推進事業

平成20年12月1日現在

都道府県	事業実施主体	関係市町村	対象作物	主な取組の概要	主な目標(目標年:25年)				20年度予定事業費		問い合わせ先
					内容	単位	現状値	目標値	(千円)	うち国費 (千円)	
北海道	当麻町有機農業推進協議会	当麻町	水稲 大豆 そば 野菜(トマト、きゅうり)	1 参入希望者への指導・助言 2 技術の実証 ①水稲(雑草の抑草技術、冬期湛水)、②野菜(有機質資材の利用)、③種苗の選抜 4 流通・販売の促進 ①直売所の活用、②HPの開設、③イベント(町内)への出店 5 消費者への普及啓発、消費者との交流 ①町の広報誌・HPの活用、②農作業体験、③田んぼの生き物調査、④特別給食用の食材供給、⑤有機農業者を講師とする総合学習の実施	有機農業者(販売農家)	戸	12 →	15	4,046	4,046	当麻町有機農業推進協議会事務局 (北海道有機ふるさと村内) TEL: 0166-84-5288 Email: hokkaido-furusatomura@live.jp
				有機農業による農産物販売額	百万円	92 →	123				
				学校給食への食材供給	食/年	— →	4,800				
北海道	新篠津村クリーン農産物生産協議会	新篠津村	水稲 大豆 野菜	1 参入希望者への指導・助言 2 流通・販売の促進 ①イベント(村内、札幌、東京)への出店、②規格外品を利用した加工品(有機野菜プリン)の試作 3 消費者への普及啓発、交流 ①農作業体験、②パン作り教室、③イベント(プロ野球)への賞品(有機野菜)提供	有機農業者(販売農家+自給的農家)	人	17 →	25	3,986	3,986	新篠津村クリーン農産物生産協議会事務局 (JA新しのつ内) TEL: 0126-57-2311 Email: seisansuishin-ja-shi@poem.ocn.ne.jp
				有機栽培面積	ha	42 →	50				
岩手県	一関市有機農業推進協議会	一関市 藤沢町	水稲 雑穀(そば、たかきび) 野菜(キャベツ)	1 参入希望者への指導・助言 2 技術の実証 ①水稲(雑草の抑草技術、冬期湛水)、②雑穀(有機質資材の利用) 3 流通・販売の促進 ①イベント(首都圏)への出店、②現地視察の招待 4 消費者への普及啓発、消費者との交流 ①市の広報誌・HPの活用、②田んぼの生き物調査、③特別給食の食材供給、④有機農業者を講師とする総合学習の実施、⑤農作業体験	有機農業者(販売農家)	戸	18 →	36	4,428	4,046	一関市有機農業推進協議会事務局 (一関市大東農業技術センター内) TEL: 0191-75-2922 Email: kenon@city.ichinoseki.lg.jp
				有機栽培面積	ha	9 →	26				
				有機農産物給食導入学校数・生徒数							

○地域有機農業推進事業

平成20年12月1日現在

都道府県	事業実施主体	関係市町村	対象作物	主な取組の概要	主な目標(目標年:25年)				20年度予定事業費		問い合わせ先
					内容	単位	現状値	目標値	(千円)	うち国費 (千円)	
秋田県	大潟村有機農業推進協議会	大潟村	水稲 麦 大豆 野菜(メロン、かぼちゃ)	1 参入希望者(稲作農家)への指導・助言 2 技術の実証 ①水稲(雑草の抑草技術、冬期湛水)、②大豆(緑肥・マルチ資材の利用) 3 流通・販売の促進 ①直売所の活用、②大都市圏の百貨店・量販店パイヤーへの販促、③HPの開設、④イベント(東京)への出店 4 消費者への普及啓発、消費者との交流 ①村の広報誌・HPの活用、②農作業体験、③田んぼの生き物調査、④特別給食の食材提供、⑤有機農業者を講師とする総合学習の実施	有機農業者(販売農家)	戸	125 →	155	4,064	4,046	大潟村有機農業推進協議会事務局 (大潟村産業建設課内) TEL: 0185-45-3653 Email: g-gotou@ogata.or.jp
					有機栽培面積	ha	716 →	750			
山形県	川西・置賜地域有機農業推進協議会	川西町 米沢市 南陽市	水稲 大豆	1 参入希望者への指導・助言 2 技術の実証 ①水稲(不耕起、雑草防除、冬期湛水)、②大豆 3 流通・販売の促進 ①朝市での直売、②イベント(県内、東京)への出店、 4 消費者への普及啓発、消費者との交流 ①農作業体験、②交流イベント(芋煮会)、③農業体験学習(生き物調査、笹まきづくり、味噌づくり)	有機農業者(販売農家)	人	26 →	50	2,355	2,355	川西・置賜地域有機農業推進協議会事務局 (有限会社山形川西産直センター内) TEL: 0238(42)4403 Email: yks@d5.dion.ne.jp
					有機農業による農産物販売額	百万円	57 →	100			
山形県	遊佐町有機農業推進協議会	遊佐町	水稲 大豆 そば 野菜(エゴマ)	1 参入希望者への指導・助言 2 技術の実証 ①水稲(雑草の抑草、冬期湛水)、②大豆、エゴマ(緑肥等の利用) 3 流通・販売の促進 ①HPの開設、②展示・商談会(東京)への出展、③イベント(東京)の開催 4 消費者への普及啓発、消費者との交流 ①町の広報誌・HPの活用、②農作業体験、③田んぼの生き物調査、④特別給食の食材供給、⑤有機農業者を講師とする総合学習の実施	有機農業者(販売農家)	戸	24 →	30	7,300	4,000	遊佐町有機農業推進協議会事務局 (JA庄内みどり 遊佐支店内) TEL: 0234-72-3234 Email: yuyou@ja.midorinet.or.jp
					有機栽培面積	ha	23 →	29			

○地域有機農業推進事業

平成20年12月1日現在

都道府県	事業実施主体	関係市町村	対象作物	主な取組の概要	主な目標(目標年:25年)				20年度予定事業費		問い合わせ先
					内容	単位	現状値	目標値	(千円)	うち国費 (千円)	
宮城県	JA加美よつば有機農業推進協議会	加美町	水稻 大豆	1 参入希望者への指導・助言 2 技術の実証 ①水稻(雑草の除(抑)草)、②大豆 3 流通・販売の促進 ①直売所の活用、②展示・商談会(東京)への出展、③農産物(米)の成分分析、④お米日本一コンテストへの出展 4 消費者への普及啓発、消費者との交流 ①農作業体験、②田んぼの生き物調査、③有機農業者を講師とする総合学習の実施	有機農業者(販売農家)	戸	30 →	55	4,164	4,046	JA加美よつば有機農業推進協議会事務局 (加美よつば農業協同組合農産振興課内) TEL: 0229-63-3761 Email: shinkou@ja-kami.or.jp
				有機栽培面積	ha	56 →	110				
福島県	喜多方市環境にやさしい農業推進協議会	喜多方市	水稻 野菜(とうもろこし、ブロッコリー)	1 参入希望者への指導・助言 2 技術の実証 ①水稻(雑草の除(抑)草、粗植)、②野菜(有機質資材の利用) 3 消費者等への普及啓発、交流 ①市の広報誌・HPの活用、②直売所、観光地の駐車場、公共施設でのPR(パネルの設置)、③田んぼの生き物調査、④特別給食の食材提供、⑤消費者(特にヤングママ)との交流会、⑥一般市民向けセミナーの開催、⑦小学校農業科用の有機農業テキスト作成及び総合学習の実施、⑧農作業体験	有機農業者(自給的農家+販売農家)	戸	48 →	68	4,000	4,000	喜多方市環境にやさしい農業推進協議会事務局 (喜多方市役所産業部農林課 農業構造改革室内) TEL: 0241-24-5235 Email: t-takahashi3@city.kitakata.fukushima.jp
				有機栽培面積	ha	76 →	109				
福島県	大玉村安心・安全な農産物等推進協議会	大玉村	水稻 麦 大豆 そば 野菜(アピオス) 飼料作物	1 参入希望者への指導・助言 2 技術の実証 ①水稻(雑草の除(抑)草、冬期湛水)、②野菜(緑肥、有機質資材、マルチ資材の利用) 3 流通・販売の促進 ①直売所の活用、②イベント(村内)の開催、③県内、関東圏のスーパーへの販促、④HPの開設 4 消費者への普及啓発、消費者との交流 ①都市住民(東京)との交流、②農作業体験、③シンポジウムの開催、④農業体験学習	有機農業者(自給的農家+販売農家)	戸	5 →	25	1,976	1,976	大玉村安心・安全な農産物等推進協議会事務局 (大玉村役場農政課内) TEL: 0243-48-3131 Email: ito-hisao@vill.otama.fukushima.jp
				有機栽培面積	ha	5 →	22				

○地域有機農業推進事業

平成20年12月1日現在

都道府県	事業実施主体	関係市町村	対象作物	主な取組の概要	主な目標(目標年:25年)				20年度予定事業費		問い合わせ先
					内容	単位	現状値	目標値	(千円)	うち国費 (千円)	
茨城県	いしおか有機農業推進協議会	石岡市	野菜(人参、きゅうり、ナス他)	1 参入希望者への指導・助言 2 技術の実証・調査 (太陽熱消毒、有機質資材、被服資材、緑肥の利用、混植・輪作) 3 流通・販売の促進 ①直売所の活用、②取引先のイベントへの出店、③販売先の調査 4 消費者への普及啓発、交流 ①農業体験、料理を通じた交流、②有機農業塾・セミナーの開催、③HPによる情報発信、④学校給食への提供普及 5 その他の取り組み ①研修受入支援、②調査研究	有機農業者(販売農家)	戸	27 →	40	4,325	4,040	いしおか有機農業推進協議会事務局 (JAやさと 対外対策室内) TEL: 0299-43-1101 E-Mail: taisakusitu@ja-yasato.com
					JAS部会のJAS有機農産物の販売額	百万円	109 →	160			
					農業体験参加者	人/年	20 →	200			
栃木県	上三川町有機農業推進協議会	上三川町 他22市町	水稻 麦 大豆 野菜(根菜・葉菜類等) 養鶏	1 参入希望者への指導・助言 (有機JAS認証にかかる指導・助言、有機稲作・有機大豆・有機麦栽培講習、ポイント研修、有機認証講座) 2 技術の実証 ①有機種子(水稻・麦・大豆)の管理技術、②抑草技術、③水稻・麦・大豆の2年3作技術体系、④有機野菜実証圃 3 流通・販売の促進 ①農産物の食味・成分検査、公開確認会、②加工食品の地域ブラン化及び試食会、③JAS有機・特別栽培認証講習会 4 消費者への普及啓発、交流 ①田んぼの生き物調査、②味噌・パンづくり体験、③公開講座、講演会の開催、④HP開設、DVD製作	有機農業者(販売農家+自給的農家)	人	8 →	30	5,399	4,046	上三川町有機農業推進協議会事務局 (NPO法人民間稲作研究所内) TEL: 0285-53-1133 Email: inaba@inasaku.or.tv
					JAS有機農産物(米・麦・大豆)	俵	780 →	2,900			
					市民講座参加者(町外からの参加を含む)	人/年	60 →	200			

○地域有機農業推進事業

平成20年12月1日現在

都道府県	事業実施主体	関係市町村	対象作物	主な取組の概要	主な目標(目標年:25年)				20年度予定事業費		問い合わせ先
					内容	単位	現状値	目標値	(千円)	うち国費 (千円)	
栃木県	茂木ゆうきの里づくり協議会	茂木町	水稲 野菜(果菜類、葉菜類等)	1 参入希望者への指導・助言、種苗交換会 2 技術の実証 ①水稲(生き物調査に基づく評価技術)、②野菜(たい肥利用技術) 3 流通・販売の促進 ①即売会イベントの定期的な開催、②イベント(県内)への出店、③直売所、町アンテナショップを通じた一般消費者への販売促進、 ④飲食店への販促と受注・出荷体制の整備 4 消費者への普及啓発、消費者との交流 ①写真展、映画上映会の開催、②HPの開設、③農業体験学習(「田んぼの学校」)、④料理教室、⑤啓もう用チラシの作成 5 その他の取組み ①新規参入希望者の研修受入支援、②環境(生物多様性)を活用した有機農業評価技術の取得、③たい肥利用による土づくり効果の分析、④現地視察・調査の受け入れ	有機農業者(販売農家)	戸	10	20	4,318	4,046	茂木ゆうきの里づくり協議会事務局 (松井ファーム内) TEL: 0285-65-7028 Email: stonepine@msb.biglobe.ne.jp
				有機栽培面積	ha	4	10				
				農業体験参加者	人/年	100	200				
				定期的に生き物調査を実施し環境評価に応用している有機農業者	戸	-	20				
群馬県	高崎市倉淵町有機農業推進協議会	高崎市	野菜(ほうれん草、小松菜、きゅうり、中玉トマト、チンゲン菜、ズッキーニ、レタスなど)、	1 参入希望者への指導・助言 2 技術の実証 (有機質資材の利用、野菜中の硝酸イオン濃度測定) 3 流通・販売の促進 ①県内スーパー店頭でのPR、②取引先業者への販促 4 消費者への普及啓発、消費者との交流 ①収穫祭の開催(収穫体験、もちつき、野菜の種子当て・重さあてのクイズ等)、②ほ場での栽培方法の説明(首都圏の消費者を対象)	有機農業の新規就農者	人/年	2	4以上	4,046	4,046	(事務局) くらぶち草の会 担当: 大河原 充 TEL: 027-378-2531 E-Mail: kusanokai@nifty.com
				有機農業による農産物販売額	百万円	240	280				
群馬県	多野藤岡有機農業推進協議会	藤岡市 吉井町 神流町 上野村	水稲 麦 大豆 野菜(ネギ、ナス、トマト等) 雑穀	1 参入希望者への指導・助言 2 技術の実証 ①水稲(疎植、抑草技術、生き物調査)、②大豆(交信攪乱剤)、③大麦(条間、中耕)、④野菜(抑草資材、有機質資材) 3 流通・販売の促進 ①県内農産物の展示・販売会への出店、②イベント(東京)への出店 4 消費者への普及啓発、消費者との交流 ①味噌づくり教室 5 その他の取組み ①田んぼの生き物調査、②先進地視察	有機農業者(販売農家)	人	9	50	3,811	3,811	多野藤岡有機農業推進協議会事務局 (JAたのふじ営農部 営農相談室内) TEL: 0274-23-4457 Email: e-kaneta@tanofuji.jagunma.net
				有機農業による農産物出荷量	t	104	284				
				田んぼの生き物調査参加人数	人/年	50	200				

○地域有機農業推進事業

平成20年12月1日現在

都道府県	事業実施主体	関係市町村	対象作物	主な取組の概要	主な目標(目標年:25年)				20年度予定事業費		問い合わせ先	
					内容	単位	現状値	目標値	(千円)	うち国費(千円)		
埼玉県	小川町有機農業推進協議会	小川町	水稲 麦 大豆 野菜(きゅうり、トウモロコシ、白菜)	1 参入希望者への指導・助言、就農相談、 2 技術の実証 ①水稲、麦、大豆、野菜(多品目)、②バイオガス液肥の利用 3 流通・販売の促進 ①直売用パッケージ、シールづくりの講習、 ②規格外品を利用した商品開発、③直売所等での試食・即売会、④地元商店・レストランへの販促、⑤有機農産物パンフの作成 4 消費者への普及啓発、消費者との交流 ①料理教室、②味噌、豆腐づくり講座、③農作業体験・生き物観察会、④地域の商店・レストランとの交流(試食会)、⑤学校給食用のメニューの提案と教員・給食審議委員等との交流	有機農業者(販売農家+自給的農家)	人	22	→	50	4,150	4,046	小川町有機農業推進協議会事務局 (小川町産業観光課内) TEL: 0493-72-1221(内242) Email: ogawa110@town.ogawa.saitama.jp
					有機農業による農産物の販路	件数	学校給食等0 地元レストラン2軒 直売所3人 地元企業取扱1件	→	学校給食等2 地元レストラン5軒 直売所6人 地元企業取扱2件			
千葉県	北総地区有機農業拡大協議会	成田市 他9市町村	野菜(根菜、果菜) 水稲 果樹(いちじく)	1 参入希望者への指導・助言、種苗交換会 2 技術の実証 ①いちじく(除草対策、天然資材の利用)、②野菜(断根栽培、天然資材利用)、③水稲(不耕起、雑草の抑草) 3 流通・販売の促進 ①首都圏飲食店への販促、②新たな商品ラベルの作成・利用、③首都圏の自然食品店でのPR、④HPでの情報発信 4 消費者への普及啓発、消費者との交流 ①農業体験及び研修の受入、②イベントへの出店(首都圏)、③会報、販売促進パンフ等の作成・配布 5 その他の取組 ①現地視察・調査の受入れ、②サンプル購入、③市場調査、④巡回指導	有機農業者(販売農家)	人	33	→	58	5,687	4,000	北総地区有機農業拡大協議会事務局 (株)生産者連合デコポん 商品部内 TEL: 0476-49-0181 Email: takenaka@decopon.co.jp
					有機農業による農産物販売額	百万円	285	→	570			
					企業の社員農業研修の受入	受入企業数	2	→	10			

○地域有機農業推進事業

平成20年12月1日現在

都道府県	事業実施主体	関係市町村	対象作物	主な取組の概要	主な目標(目標年:25年)				20年度予定事業費		問い合わせ先
					内容	単位	現状値	目標値	(千円)	うち国費 (千円)	
千葉県	山武市有機農業推進協議会	山武市	野菜(人参、里芋、大根、ゴボウ、甘藷、レタス類、ホウレン草、小松菜、水菜、キャベツ、白菜、落花生類、ナスなど) 水稲	1 参入希望者への指導・助言 2 技術の実証 ①野菜全般(緑肥、マルチ資材の利用、湛水還元、断根育苗、土壌・栄養分析)、②水稲(雑草の除(抑)草技術) 3 流通・販売の促進 ①直売所の活用、②実需者の現地視察対応、③農産加工品(にんじんジュース)の試作、④実需者との契約締結 4 消費者への普及啓発、消費者との交流 ①HPでの情報発信、②取引先店舗での消費者との交流、③農業体験、④食農教育、⑤田んぼの生き物調査 5 その他の取組 ①視察・調査の受け入れ	有機農業者(販売農家)	戸	45 →	53	5,040	4,040	山武市有機農業推進協議会事務局 (さんぶ野菜ネットワーク内) TEL: 0475-89-0590 Email: info@sanbu-yasai-net.or.tv
				有機農業による農産物販売額(野菜)	百万円	602 →	720				
				田んぼの生き物調査参加人数	人/年	200 →	300				
山梨県	やまなし有機農業推進連絡会議	県全域	水稲 麦 大豆 野菜(大根、ブロッコリー) 果樹(もも、すもも、ぶどう)	1 参入希望者への指導・助言、技術情報の交換 2 技術の実証 ①野菜・果樹(栽培時期と生育特性・収量等の実態把握) 3 流通・販売の促進 ①県内量販店内でのPR販売、②県内事業者とのマッチング支援 4 消費者への普及啓発、消費者との交流 ①イベント(県内・県外)による農産物販売、PR、②農作業体験 5 その他の取組み ①HP作成・維持、②有機農家資料作成、③有機農業技術の整理・体系化	有機農業者(販売農家)	戸	18 →	50	4,045	4,045	やまなし有機農業推進連絡会議事務局 Email: magonote-2008@sand.ocn.ne.jp
				有機農業による農産物の作付面積	ha	37 →	50				
静岡県	浜松市天竜区春野町有機農業推進協議会	浜松市(天竜区春野町)	茶	1 参入希望者への指導・助言 2 技術の実証(減肥、整枝時期、土壌診断) 3 流通・販売の促進 ①英語版HPの開設、②海外輸出の商談、③販売促進資材の検討・開発、④イベントへの出店、⑤直売所の活用、⑥残留農薬分析、⑦勉強会 4 消費者への普及啓発、消費者との交流 ①地元小中学校への出前講座、②交流事業(茶摘み体験、紅茶づくり)	有機農業の新規就農者	人	0 →	2	3,479	3,479	浜松市天竜区春野町有機農業推進協議会事務局 (マルセン砂川共同製茶組合内) TEL: 053-986-0533 Email: yuki@harunotea.org
				海外輸出货量	kg/年	0 →	200				
				出前講座参加者(延人数)	人	0 →	100				

○地域有機農業推進事業

平成20年12月1日現在

都道府県	事業実施主体	関係市町村	対象作物	主な取組の概要	主な目標(目標年:25年)				20年度予定事業費		問い合わせ先
					内容	単位	現状値	目標値	(千円)	うち国費 (千円)	
福井県	越前おおの・阪谷有機の里づくり推進協議会	大野市	水稲 野菜(さといも) そば 山菜 ひまわり	1 参入希望者への指導・助言 2 技術の実証 ①水稲(抑草技術)、②さといも(有機質肥料の利用)、③そば・ひまわり(ぼかし肥料、微生物資材の利用)、④山菜 3 流通・販売の促進 ①体験交流施設での展示・販売・そば打ち体験、②地域の朝市、イベントへの出店、③HPの開設、④奥越圏内量販店への販促 4 消費者への普及啓発、消費者との交流 ①市・地区の広報誌・HPの活用、②農作業体験、③食育の出前授業、④学校給食の食材提供	有機農業者(販売農家)	戸	30 →	200	4,040	4,040	越前おおの・阪谷有機の里づくり推進協議会事務局 TEL: 0779-67-7250
				有機農業による農産物の販売額	百万円	27 →	216				
				学校給食への食材供給	食/年	2校 → 250食	6校 1000食				
三重県	紀南有機農業推進協議会	熊野市 御浜町 紀宝町	水稲 果樹(かんきつ類、うめ) 野菜(たかな、なのはな、まこもだけ)	1 参入希望者への指導・助言 2 技術の実証 ①果樹(有機質資材、カバープランツの利用)、②水稲(雑草の除(抑)草技術、有機質資材の利用)、③野菜(有機質資材、緑肥の利用) 3 流通・販売の促進 ①HPの開設、②直売所の活用、③朝市(県内、名古屋)への出店、④首都圏の生協・流通事業者への販促 4 消費者への普及啓発、消費者との交流 ①イベントでの交流、②田んぼの生き物調査、③食農教育「食真野(くまの)体感スクール」の開催、④有機農業による障害者自立支援・就農支援の取組の発表	有機農業者(販売農家)	戸	15 →	50	4,110	4,046	紀南有機農業推進協議会 (有限会社御浜天地内) TEL: 05979-3-1188 Email: mihamatenchi@deluxe.ocn.ne.jp
				有機農業による農産物販売額	百万円	40 →	100				
				農業体験参加者	人/年	50 →	200				
滋賀県	高島有機農業推進協議会	高島市	水稲	1 参入希望者への指導・助言 2 技術の実証(補助対象としての取組は無し) 3 流通・販売の促進 ①関西圏の百貨店バイヤー等への販促、②HPの開設、③イベント(大阪)への出店、④米袋図案の作成 4 消費者への普及啓発、消費者との交流 ①メディア(新聞・雑誌)を活用した情報発信、②農作業体験、生き物観察会、③シンポジウムの開催	有機農業者(販売農家)	戸	7 →	38	4,122	4,046	高島市役所農業振興課 TEL (0740)25-8511 FAX (0740)25-8519 e-mail: norin@city.takashima.shiga.jp
				有機農業による農産物販売額	百万円	24 →	84				
				農業体験・生き物調査参加者	人/年	445 →	520				

○地域有機農業推進事業

平成20年12月1日現在

都道府県	事業実施主体	関係市町村	対象作物	主な取組の概要	主な目標(目標年:25年)				20年度予定事業費		問い合わせ先
					内容	単位	現状値	目標値	(千円)	うち国費 (千円)	
京都府	美山有機農業推進協議会	南丹市 (旧美山町)	水稲 野菜(ナス、ニンジン)	1 参入希望者への指導・助言 2 技術の実証 ①水稲(抑草技術)、②ナス(ネキリムシの防除)、③ニンジン(たい肥の利用) 3 流通・販売の促進 ①直売所の活用、②関西圏の百貨店・量販店バイヤーへの販促、③HPのリニューアル、④イベント(町内、京都市内)への出店 4 消費者への普及啓発、消費者との交流 ①HPの活用、②農業体験学習(田んぼの生き物調査、農作業、料理)、③産直の顧客等との交流、④郷土料理・行事食づくり体験	有機農業者(販売農家)	戸	30 →	90	3,221	3,221	南丹市役所美山支所 産業建設課 TEL (0771)68-0043 FAX (0771)75-0801 e-mail: sanken-m@city.nantan.kyoto.jp
					有機農業による農産物販売額	百万円	19 →	61			
					学校給食食材に有機が占める割合(野菜)	%	10 →	50			
兵庫県	神戸西有機農業推進協議会	神戸市	野菜(トマト、軟弱野菜等)	1 参入希望者への指導・助言(研修生受入) 2 技術の実証 (土壌診断結果に基づく施肥設計、光の利用、生物農薬の利用) 3 流通・販売の促進 ①直売所の活用、②取引店担当者への啓発、③有機JAS認証書類作成システムの開発 4 消費者への普及啓発、消費者との交流 ①リーフレットの作成・配布、②市内のイベントでのPR・販売、③農作業体験、講習会、水田での運動会	有機JAS認定農家	戸	12 →	24	4,046	4,046	JA兵庫六甲 神戸西営農総合センター TEL (078)961-1277 FAX (078)961-2641 e-mail: kobenishi@jarokko.or.jp
					JAS有機農産物販売量	t	424 →	700			
					イベント参加人数	千人	0 →	100			
兵庫県	コウノトリ共生農業推進協議会	豊岡市	水稲 麦 大豆 そば 野菜(トマト、ねぎ、キャベツ等)	1 参入希望者への指導・助言 2 技術の実証 水稲(米ぬかによる抑草、不耕起と代かきの比較等) 3 流通・販売の促進 ①直売所の活用、②市内スーパーでの試食販売PR、③地域のイベントへの出店、④給食食材への利用、⑤「コウノトリの舞」ブランドの推進 4 消費者への普及啓発、消費者との交流 ①市の広報誌・HPの活用、②田んぼの生き物調査、③有機農業者を講師とする学習会の開催	有機農業者(販売農家+自給的農家)	戸	124 →	200	4,046	4,046	豊岡市役所農林水産課 TEL (0796)23-1127 FAX (0796)24-7801 e-mail: nourin@city.toyooka.lg.jp
					独自認証(無農薬)面積	ha	76 →	100			
					農業体験への小学校の参加	人	5校 → 70人	9校 130人			

○地域有機農業推進事業

平成20年12月1日現在

都道府県	事業実施主体	関係市町村	対象作物	主な取組の概要	主な目標(目標年:25年)				20年度予定事業費		問い合わせ先
					内容	単位	現状値	目標値	(千円)	うち国費 (千円)	
兵庫県	丹波市有機の里づくり推進協議会	丹波市	水稲 大豆 野菜(はくさい、レタス、チンゲンサイ、ほうれんそう等) 果樹(ブルーベリー等)	1 参入希望者の指導・助言(研修生の受入) 2 技術の実証 ①水稲(抑草技術、育苗技術)、②野菜(育苗、バンカープランツ)、③果樹 3 流通・販売の促進 ①神戸市内の朝市、イベントへの出店 4 消費者への普及啓発、消費者との交流 ①援農グループとの交流、②有機農家でのワークキャンプ、③イベント(神戸)でのPR	有機JAS認定農家	戸	15 →	20	4,046	4,046	丹波市役所農林振興課 TEL (0795)74-1465 FAX (0795)74-1055 e-mail:nourin-shinkou@city.tamba.hyogo.jp
奈良県	宇陀市有機農業推進協議会	宇陀市	水稲 大豆 野菜(ほうれんそう、こまつな、みずな等) 果樹(クリ等) 茶	1 参入希望者への指導・助言 2 技術の実証 ①水稲(合鴨農法)、②野菜(フェロモン剤、防虫ネット、マルチ資材の利用) 3 流通・販売の促進 ①直売所の活用、②都市圏の百貨店パイヤー、外食事業者への販促、③イベント(県内)への出店、④HPの開設 4 消費者への普及啓発、消費者との交流 ①農作業体験、②給食の食材提供(小中学校、福祉施設)、③国道沿いに看板を設置、④有機農業者の車両にマグネット看板を貼付	有機農業者(販売農家) 有機農業による農産物販売額 学校給食	戸 百万円 導入校数	13 → 240 → 0 →	20 300 14	4,000	4,000	宇陀市役所農林課 TEL (0745)82-3679 FAX (0745)82-8211 e-mail:nourin@city.uda.lg.jp
和歌山県	那賀地方有機農業推進協議会	紀の川市 岩出市	水稲、野菜(たまねぎ、なす、きゅうり、トマト等)、果樹(キウイフルーツ等)	1 参入希望者への指導・助言 2 技術の実証 ①野菜(生物農薬、天敵、微生物資材、太陽熱・有機質資材利用技術) 3 流通・販売の促進 ①直売所の活用、②イベント(県内)への出店、③都市近郊スーパーでの販促 4 消費者への普及啓発、消費者との交流 ①イベントでの試食会の開催、②学校給食の食材提供	有機農業者(販売農家+自給的農家) 学校給食	人 導入校数	21 → 9 →	60 12	4,046	4,046	和歌山県那賀振興局 農業振興課 TEL (0736)61-0025 FAX (0736)61-1514

○地域有機農業推進事業

平成20年12月1日現在

都道府県	事業実施主体	関係市町村	対象作物	主な取組の概要	主な目標(目標年:25年)				20年度予定事業費		問い合わせ先
					内容	単位	現状値	目標値	(千円)	うち国費 (千円)	
島根県	吉賀町有機農業推進協議会	吉賀町	水稲 麦 大豆 野菜(キュウリ、トマト等) 茶	1 技術の実証①水稲(雑草の除(抑)草技術)、②野菜(ぼかし肥料の利用、熱利用消毒) 3 流通・販売の促進 ①直売所(道の駅等)の活用、②広島、関西、福岡圏スーパーのバイヤー、米卸等への販促、③広島圏スーパーでのPR、④イベント(町内)でのPR・販売 4 消費者への普及啓発、消費者との交流 ①町の広報誌の活用、②広島市周辺の世帯への「よしか通信」の配布、③田んぼの生き物調査、④生協会員との交流、⑤町内小学校による有機農業及び棚田保全活動と発表会の開催	有機農業者(販売農家)	戸	87	130	4,037	4,037	吉賀町有機農業推進協議会事務局 (吉賀町役場産業課内) TEL: 0856-79-2213
					有機農業による農産物出荷額	百万円	97	110			
					農業体験・生き物調査参加者	人/年	43	250			
徳島県	上勝町有機農業推進協議会	上勝町	果樹(ゆず、すだち、ゆこう) 茶 野菜(ベビーリーフ、アスパラガス、みょうが) そば 菜種 大豆	1 参入希望者への指導・助言 2 技術の実証 ①ベビーリーフ(たい肥・液肥の利用)、②茶・アスパラガス・ミョウガ(たい肥の利用) 3 流通・販売の促進 ①県内スーパーでの直売コーナー設置、②町内商店でのPR、③HPの開設、④CATV番組の作成、⑤イベント(町内)への出店 4 消費者への普及啓発、消費者との交流 ①町の広報誌・HPの活用、②有機農家でのワーキングホリデー、③学校給食での有機農業者との交流、④試食会の開催、⑤郷土料理・創作料理等のレシピ作成	有機農業者(販売農家)	戸	1	20	4,389	4,046	上勝町有機農業推進協議会事務局 (上勝町役場産業課内) TEL: 0885-46-0111
					有機栽培面積	ha	2	5			
					学校給食への食材供給	食/年	0	20,000			
徳島県	徳島有機農業推進協議会	阿波市 徳島市 藍住町 石井町 吉野川市	野菜(トマト、サツマイモ、いちご等) 果樹(ゆず、はっさく、夏みかん) 水稲	1 参入希望者への指導・助言 2 技術の実証 ①野菜・果樹(有機質資材の利用、施肥設計)、②水稲(早期湛水、成苗植え、雑草の抑草技術) 3 流通・販売の促進 ①生産情報の公開システムの確立(硝酸イオン、糖度、田んぼの生き物情報等) *その他、県内スーパーでの直売コーナー設置など独自の活動を展開 4 消費者等への普及啓発、消費者との交流 ①新米、冬野菜を食べる会の開催、②地元飲食店でのPR、③田んぼの生き物調査、④農作業体験学習「田んぼの学校」の開催	有機農業者(販売農家)	人	67	325以上	16,602	4,046	徳島有機農業推進協議会事務局 (コープ自然派徳島内) TEL: 088-665-8181
					有機農業による農産物販売額	百万円	250	800			
					農業体験・生き物調査参加者	人/年	20	500			

○地域有機農業推進事業

平成20年12月1日現在

都道府県	事業実施主体	関係市町村	対象作物	主な取組の概要	主な目標(目標年:25年)				20年度予定事業費		問い合わせ先
					内容	単位	現状値	目標値	(千円)	うち国費 (千円)	
愛媛県	今治市有機農業推進協議会	今治市	水稲 野菜 果樹(みかん、いよかん等)	1 参入希望者への指導・助言 2 技術の実証 ①水稲(深水管理)、②野菜(たい肥の利用)、③かんきつ 3 流通・販売の促進 ①市内イベントでの展示・販売、②有機の市場に関する意識調査、③有機JASの講習会、④残留農薬、組換えDNAの検査 4 消費者への普及啓発、交流 ①市内のイベントでの交流、②学校給食感謝祭の開催、③「食」のメール配信、④農作業体験、⑤有機農業の市民農園開設	有機農業者(販売農家)	人	22 →	44	4,214	4,046	今治市有機農業推進協議会 (今治市役所農林振興課内) TEL: 0898-36-1542
					有機栽培面積	ha	23 →	45			
愛媛県	西予市有機農業推進協議会	西予市	果樹(みかん) 水稲	1 参入希望者への指導・助言 2 技術の実証 ①カンキツ類(天敵微生物の利用)、②水稲(布マルチの利用) 3 流通・販売の促進 ①宣伝用映像ソフトの作成、②取引先との商談、公開確認会、③地元出身者等へのDM発送、④新米の販促(東京、大阪)、⑤有機JAS認証取得の準備 4 消費者への普及啓発、消費者との交流 ①体験ツアー(みかん)、②みかん畑の生き物調査、③市内のイベントでのPR	有機農業者(販売農家)	戸	83 →	120	4,333	4,046	西予市有機農業推進協議会事務局 (西予市役所農林水産課内) TEL: 0894-62-6409
					有機農業による農産物販売額	百万円	120 →	220			
					学校給食への食材供給	食/年	3,000 →	9,000			
高知県	高知439国道有機協議会	本山町 土佐町 大川村 いの町 仁淀川町	野菜(こまつな、だいこん、ほうれんそう、ミズナ、レタス、白菜、からし菜、キャベツ)	1 参入希望者への指導・助言 2 技術の実証(土づくり、は種方法等) 3 流通・販売の促進 ①量販店等(県内)でのPR・販売、②学校等の給食向けの食材供給、③有機野菜フェア(県内)の開催 4 消費者への普及啓発、消費者との交流 ①園児と保護者との試食・交流会、②HPIによる情報発信、③シンポジウムの開催	研修受講農業者	人	6 →	100	4,130	4,046	高知439国道有機協議会 (仁淀川町役場池川支所地域振興課内) TEL: 0889-34-2115
					有機栽培品目	数	8 →	11			
					イベントの参加者数	人	52 →	800			

○地域有機農業推進事業

平成20年12月1日現在

都道府県	事業実施主体	関係市町村	対象作物	主な取組の概要	主な目標(目標年:25年)				20年度予定事業費		問い合わせ先
					内容	単位	現状値	目標値	(千円)	うち国費 (千円)	
福岡県	赤村有機農業推進協議会	赤村	水稲 野菜(セロリ、トマト)	1 参入希望者への指導・助言 2 技術の実証 ①水稲(雑草の除草技術)、②セロリ等(有機質肥料の利用、天敵の利用) 3 流通・販売の促進 ①直売所でのPR用映像ソフトの作成、②生協(福岡市・北九州市、首都圏)での販促 4 消費者への普及啓発、消費者との交流 ①米加工品(酒)の試飲会、②田んぼの生き物調査、③HPの開設	有機農業者(販売農家)	戸	20	1法人・25戸	4,395	4,046	赤村有機農業推進協議会 事務局:赤村役場 産業建設課 三橋 (電)0947-62-3000 aka-s.sanshin@mb.fcom.ne.jp
				有機農業による農産物販売額	百万円	27	45				
佐賀県	白石地域有機農業モデルタウン協議会	白石町	水稲 麦 大豆 野菜(たまねぎ、れんこん)	1 参入希望者への指導・助言 2 技術の実証 ①野菜、②水稲 3 消費者への普及啓発、消費者との交流 ①農作業体験、②現地での交流(試供品の提供、食味)、③有機農業推進大会の開催	有機JAS認定農家(販売農家)	戸	0	20	4,046	3,992	白石地域有機農業モデルタウン協議会 事務局:有機農業開発・推進機構 木塚 (電)0952-41-2525 syokuene.kankyuu@po.bunbun.ne.jp
					有機JAS認証面積	ha	0	10			
長崎県	南島原市有機農業推進協議会	南島原市	水稲 野菜(ばれいしょ、たまねぎ、トマト等) 果樹(温州みかん、ハウスみかん) 黒ゴマ	1 参入希望者への指導・助言 2 技術の実証 ①野菜(品種による生育の違い)②果樹(有機質肥料の利用)、③水稲(合鴨農法)④黒ゴマ(連作障害対策) 3 消費者への普及啓発、消費者との交流 ①広報誌・HP等の活用、②田んぼの生き物調査③看板の設置	有機農業の新規取組農家(販売農家)	戸/5年	(未調査)	40	4,000	4,000	南島原市有機農業推進協議会 事務局:南島原市農林水産部農林課 山下 TEL:050-3381-5060 nousan@city.minamishimabara.lg.jp
					有機農業による農産物生産量	%	-	現状の1割増			

○地域有機農業推進事業

平成20年12月1日現在

都道府県	事業実施主体	関係市町村	対象作物	主な取組の概要	主な目標(目標年:25年)				20年度予定事業費		問い合わせ先	
					内容	単位	現状値	目標値	(千円)	うち国費 (千円)		
熊本県	山都町有機農業推進協議会	山都町	水稲 野菜(ニラ、軟弱野菜等)、茶	1 参入希望者への指導・助言 2 技術の実証 ①水稲(雑草の除(抑)草技術、冬期湛水、天然資材の利用等)、②野菜(緑肥の利用、天然資材、ぼかし肥料、マルチ資材の利用等)、茶(フェロモントラップ、天然資材の利用) 3 流通・販売の促進 ①直売所の活用、②百貨店のパイヤー、流通販売業者への販促、③HPの開設、③イベント(県内)への出店、共催 4 消費者への普及啓発、消費者との交流 ①町の広報誌・HPの活用、②農作業体験(タウン情報誌とのタイアップ企画)、③田んぼの生き物調査、④学校給食の食材提供、⑤有機農業者を講師とする総合学習の実施	有機農業者(販売農家)	戸	118	→	300	4,500	4,000	山都町有機農業推進協議会事務局 (山都町農業振興課内) TEL: 0967-72-1136
					有機農業による農産物出荷量	t	391	→	800			
熊本県	人吉市有機農業推進協議会	人吉市	水稲 野菜(耐暑性野菜(エンサイ、アマランサス等))	1 参入希望者への指導・助言 2 技術の実証 ①水稲(合鴨農法)、②野菜、③果樹(天然資材の利用) 3 流通・販売の促進 ①直売所等での農産物オーナー募集、②生産履歴・成分分析、健康レシピのPR、③HPの開設 4 消費者への普及啓発、消費者との交流 ①市の広報誌の活用、②イベントへの出店、③農作業体験、④講演会、食育セミナーの開催	有機JAS認定農業者(販売農家)	人	0	→	30	4,000	4,000	人吉市有機農業推進協議会事務局 (人吉市農業振興課内) TEL: 0966-22-2111 内線5111 Email: nougyou@city.hitoyoshi.lg.jp
					JAS有機農産物出荷量	t	0	→	30			
大分県	「給食畑の野菜」有機農業推進協議会	臼杵市	野菜(人参、玉ねぎ等)	1 参入希望者への指導・助言 2 技術の実証 (フェロモン剤、光利用、混植、生物農薬) 3 流通・販売の促進 ①直売所の活用、②イベント(県内)への出店、直売所内でのフェアの開催、③有機農業による農産物「給食畑の野菜」貼付用シールの作成・啓発、④給食センター栄養士、調理員との意見交換 4 消費者への普及啓発、消費者との交流 ①市の広報誌・HPの活用、②地元有機農産物利用店の掲示板の作成・配布、③小学生向け農業体験学習、④PTA向け「給食畑の野菜」通信の発行	有機農業者(販売農家)	戸	1	→	20	2,735	2,700	「給食畑の野菜」有機農業推進協議会 事務局: 臼杵市役所 臼杵市ほんまもの里農業推進センター 佐藤 (電)0974-32-7988 s-kazuhi@city.usuki.oita.jp
					有機農業による農産物販売額	百万円	1	→	8			

○地域有機農業推進事業

平成20年12月1日現在

都道府県	事業実施主体	関係市町村	対象作物	主な取組の概要	主な目標(目標年:25年)				20年度予定事業費		問い合わせ先
					内容	単位	現状値	目標値	(千円)	うち国費 (千円)	
宮崎県	綾町有機農業推進会議	綾町	水稻、野菜 (ほうれんそう等)	1 参入希望者への指導・助言 2 技術の実証 ①野菜(たい肥の肥効試験、土壌線虫対抗植物の利用)、②水稻(雑草の抑草技術) 3 流通・販売の促進 ①直売所の活用、②農産物の成分分析、 4 消費者への普及啓発、消費者との交流 ①有機農業まつりの開催(優良な事例の発表、講演、郷土料理を囲んでの交流、即売会等)、②HPの開設、③イベントへの出店(京都、名古屋、宮崎市内)、④試供品の提供、 ⑤収穫、味噌づくり体験	新たに有機JASに取り組む農家(販売農家)	戸	11 →	14	4,842	4,046	綾町有機農業推進会議事務局 (綾町農林振興課綾町有機農業開発センター内) TEL: 0985-77-0100
					自然生態系農業(*)による農産物販売額(野菜)	百万円	233 →	256			
					*:特別栽培農産物の水準を含む						
鹿児島県	かごしま有機農業推進協議会	鹿児島市南さつま市始良町	水稻、野菜(カンショ、ほうれん草、小ねぎ、玉ねぎ等)、果樹(みかん等)	1 参入希望者への指導・助言 2 技術の実証(他事業で実施) 3 流通・販売の促進 ①農産物の展示・商談会への出展(東京)、 ②直売所、レストラン(県内)でのPR 4 消費者への普及啓発、消費者との交流 ①農作業体験、収穫交流会等②有機フェスタの開催③生協組合員との交流会	有機農業者(販売農家)	戸	26 →	33	4,546	4,046	かごしま有機農業推進協議会 事務局:かごしま有機生産組合 岩本 (Tel)099-282-6867 (Fax)099-282-9060 (Mail)k-organic@chikyubatake.jp
					有機農業による農産物販売額	百万円	390 →	500			